

「桜満開! (7)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka



小石川植物園の柴田記念館の近くに、白い花が満開なのに、すでに葉も茂らせている木があった。サクラでもコブシでもない。



幸いここは植物園なので、必ず「種名札」がある。これは「ヤマナシ」と書かれていた。私は野辺山高原で見たことがあるが、ここにあるとは知らなかった。



「ヤマナシ」は、普段食している梨の原種の一つで、秋には小さな実をたくさんつける。宮澤賢治の「やまなし」にも登場し、国語の教科書にも掲載されている。難解な物語文として有名で、6年生や国語教師を悩まし続けている。秋には、植物園でも実が見られるのだろうか? また行ってみたいと思った。



植物園内の標本木のエリアには、他のナシの花も咲いていた。これは「イワテヤマナシ」という種類の変種で、素人目には花の区別は難しいだろう。



小石川植物園の良いところは「飲酒禁止」が徹底していることだ。上野公園のような宴会騒ぎもなく、ゆっくりとサクラを鑑賞できるのが嬉しい。